

真冬に稲刈り！ビル地下農場パソナO

竹中総務大臣、堺屋太一、猪瀬直樹の諸氏をはじめ関係者多数の出席のもと、この1月11日東京大手町のビル地下農場(パソナO)で稲刈りが行われました。「真冬に稲刈り！」しかも東京のど真ん中ということで話題を呼びTV・新聞でも大きく報道されました。パソナOは人材派遣業最大手の株式会社パソナが昨年2月オープンさせた展示型農業施設で栽培システムを弊社が担当させていただきました。棚田風にしつらえられた部屋で人工光源

(高圧ナトリウムランプ+メタルハライドランプ)のもと培地+水耕で栽培され、栽培担当の方々の苦勞が実り約5ヶ月で無事収穫となったものです。生育を抑え気味にした栽培体系をとっているため多少時間がかかりましたが「ビル地下で稲を作る(収穫する)」歴史的な一頁となりました。この稲の部屋以外にもトマトの部屋、花の部屋、ハーブの部屋、野菜の部屋と、それぞれに工夫を凝らした栽培が展開されており毎日100名以上の人が訪れる観光スポット

にもなっており、来場者はすでに2万人を超えました。都心で農業に触れられる場所、農業に関心を持つ人々に情報発信する場所、パソナOはそんな人々のために役割を演じ、人材派遣の領域開拓のみならず農業全体の発展につなげたいとのこと。フリータであるとかシルバー層など働きたいけど場所がないという人々に農業はいかがですか！と語りかける貴重な場所となっており、弊社も今後とも協力してまいりたいと考えています。(編集子)

